

# Lightroom Classic + Canonプリンタでプリント(プラグインソフトを使用しない場合)

2021年4月27日更新

使用OS	プリンタ	表示ソフトウェア
macOS Catalina (10.15.7)	Canon PIXUS PRO-10S	Adobe Lightroom Classic

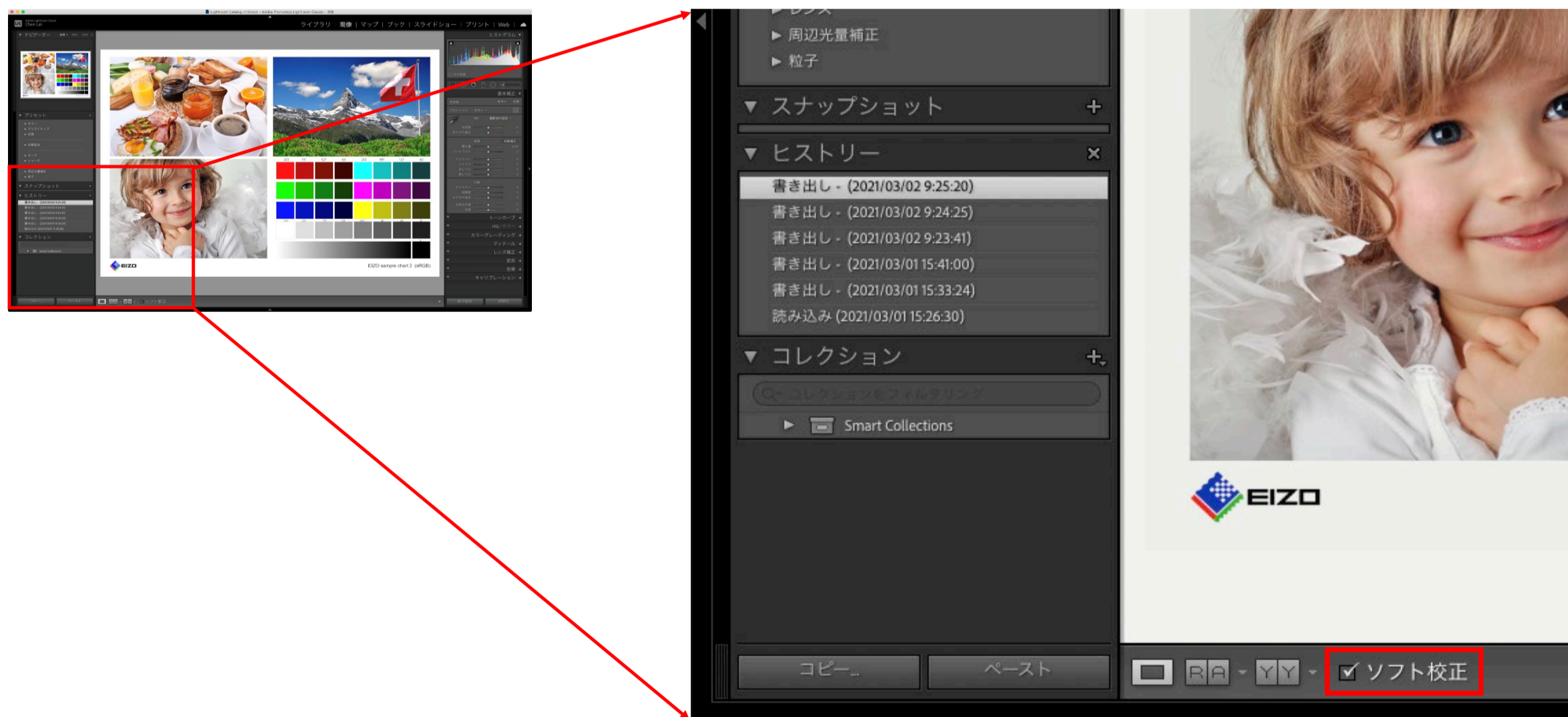
## <操作手順のポイント>

- ① 写真をプリントする前に、「■Adobe Lightroom Classic上でプリントの色合いを確認する(ソフト校正)」を実施してプリントの色合いを確認します。
  - ② モニター上の写真プリントの色合いを見ながら現像・レタッチをした後、「■プリント設定を行いプリントする」を実施してプリントしてください。
- ※使用する写真用紙の種類を変えたときは、①②ともに設定しなおしてください。

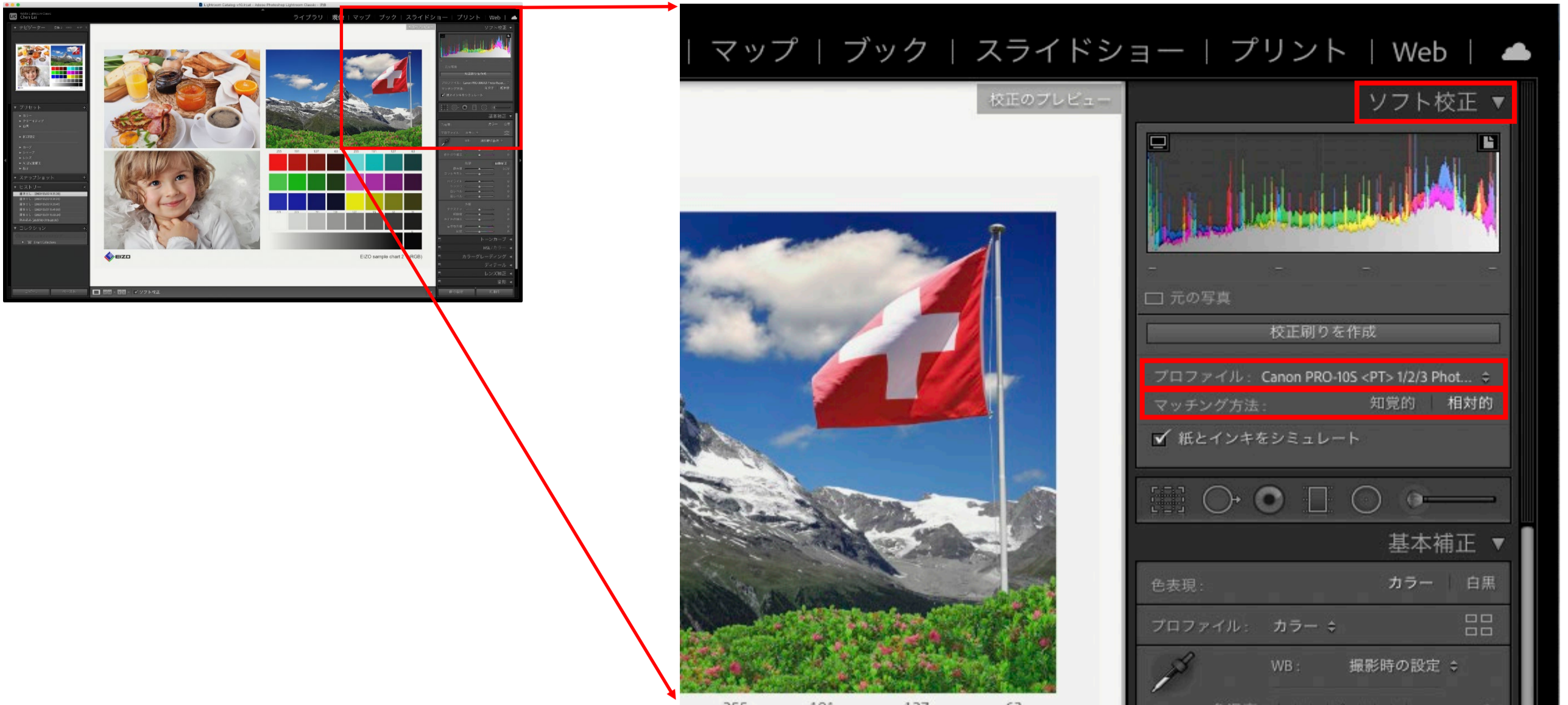
## ■ Adobe Lightroom Classic上でプリントの色合いを確認する

Adobe Lightroom Classicには、プリントする前にプリントの色合いをモニター上で確認できる機能があります。現像処理後に、正確に色の確認を行ったうえでプリントすることをお勧めしています。手順は以下の通りです。

1. Adobe Lightroom Classic右上の「現像」モジュールで画像を開き、左下部の「ソフト校正」に「マーク」をつけてください。



2.次に右上に表示される「ソフト校正」で、プロファイルに使用する用紙の「プリンタプロファイル」、マッチング方法に「相対的」を設定してください。



**【参考】**  
 プリント用プロファイルがない場合は「その他」を選択するとインストールされているプリンタの用紙ごとのプロファイルがリスト表示されるので「必要なプロファイルに✓マーク」をつけて「OK」をクリックしてください。複数の用紙を使い分ける場合はそれらすべてをチェックしておく便利です。

※ プロファイル

プロファイルにプリンタプロファイルを設定すると、使用するプリンタ・用紙の発色を考慮した色を事前にAdobe Lightroom Classic上で表示できます。プリンタプロファイルとは、プリンタ機種と用紙種の組み合わせによる色特性を記述したデータです。入手方法は、プリンタ付属CD、プリンタメーカーや用紙メーカー各社のホームページからダウンロードしてお使いください。

※ マッチング方法

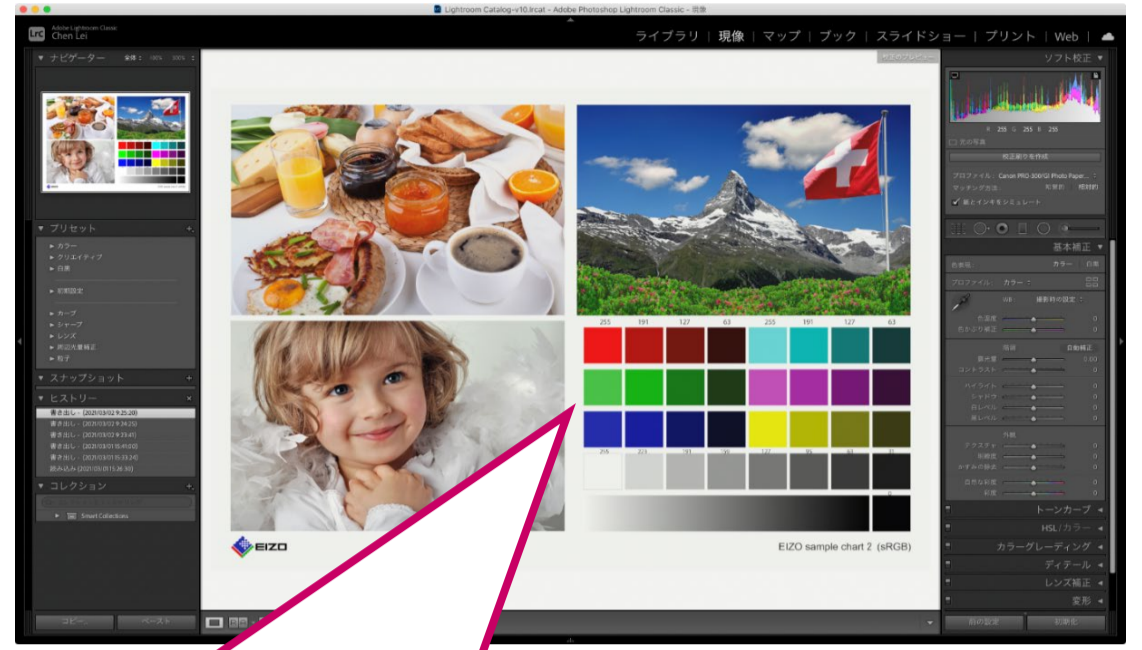
「相対的」は、プリンタの色再現域を超えた色があつた場合、再現できるもっとも近い色に変換し、再現域の中におさまっている色はそのままプリントする方法で、こちらをお勧めします。一方、「知覚的」は、全体を圧縮してプリンタの色再現域におさめる方法で、階調のつながりを意識した仕上がりとなります。

3.この状態で画像データの最終色確認を行ってください。

【ソフト校正設定前】



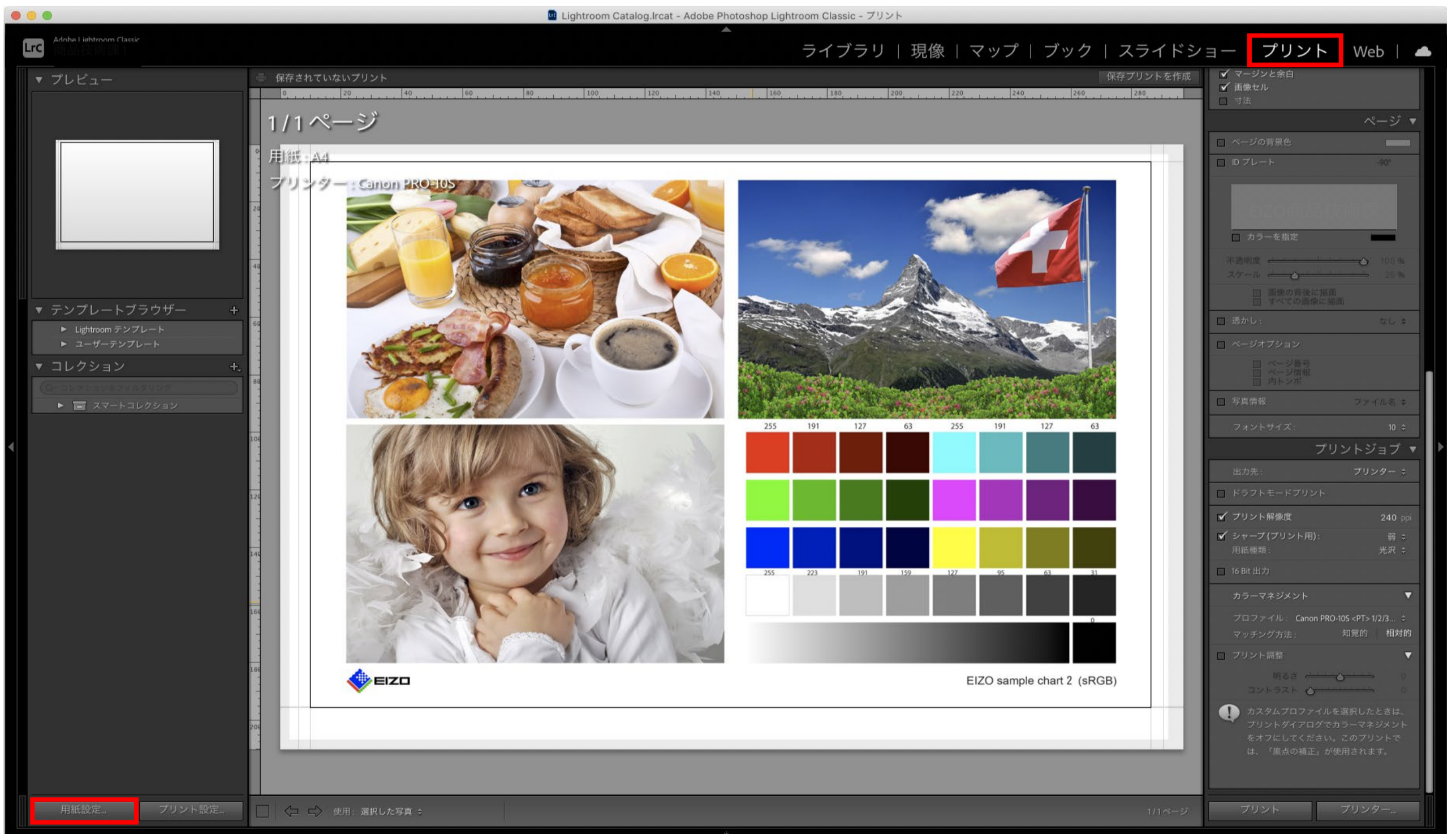
【ソフト校正設定後】



お使いになるプリンタと用紙の再現色域を超えた色は変化して表示されます。

■ プリント設定を行いプリントする

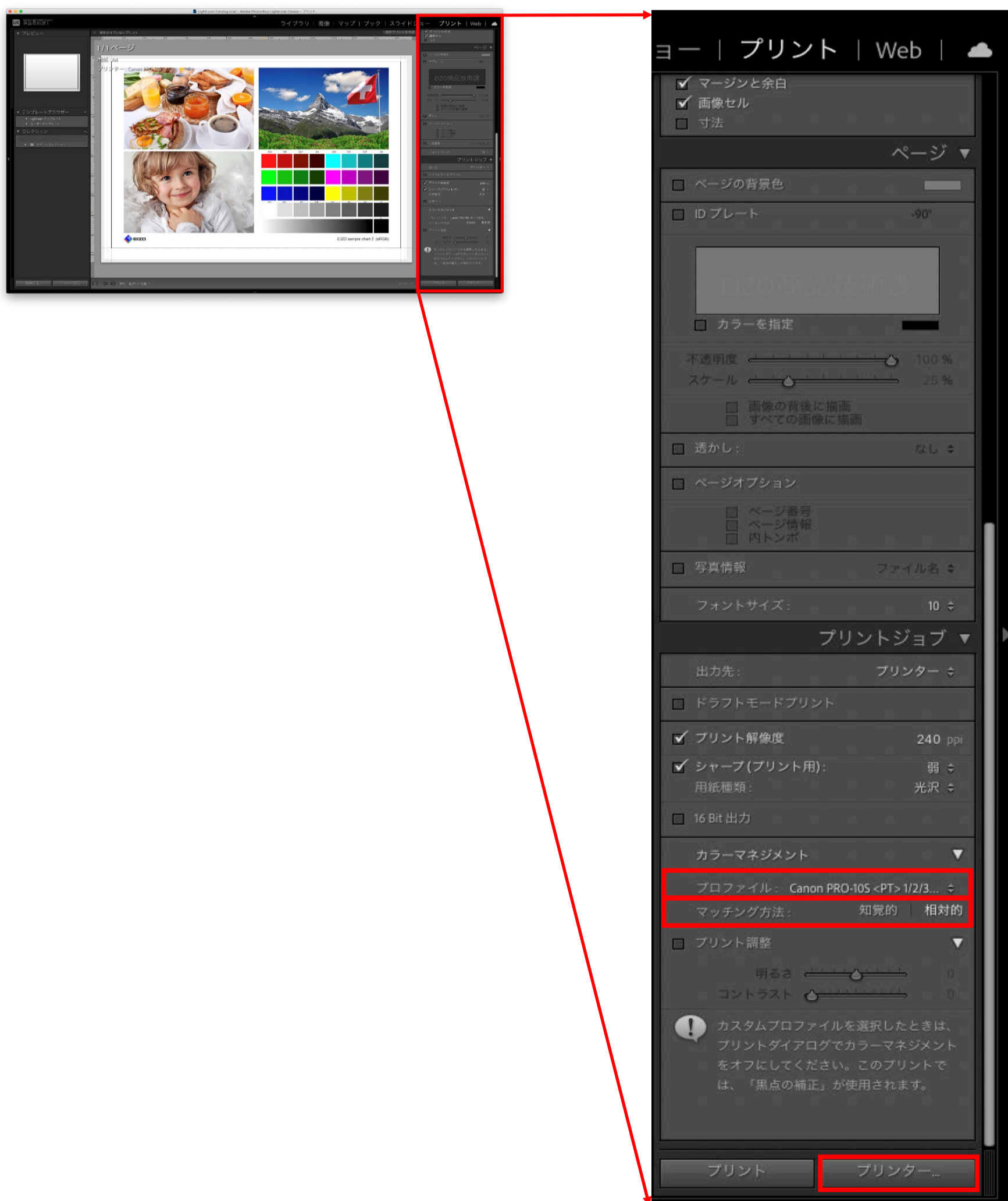
1.Adobe Lightroom Classic右上の「プリント」タブを選択し、画面左下の「用紙設定」をクリックしてください。



2. ページ設定ウィンドウが表示されます。「対象プリンタ」「用紙サイズ」「方向」を選択して「OK」をクリックしてください。



3. 「カラーマネジメント」の設定を行います。プリンタプロファイルは使用する用紙の「プリンタプロファイル」、マッチング方法は「相対的」に設定することが写真プリントにお勧めの設定になります。以上を設定・確認のうえ「プリンター...」をクリックしてください。



4. プリント画面で使用する「プリンタ」を設定し、「詳細を表示」をクリックしてください。



5.「品位と用紙の種類」タブを選択し、「用紙の種類」に今から使用する用紙を選択してください。以上を設定・確認のうえ、必要部数を設定のうえ「プリント」をクリックして印刷を開始してください。



6.モニター表示との比較、プリントの出来上がりを正しく確認するには、色温度が5000K、平均演色評価数(Ra)が90以上の照明をご使用ください。

